

福井市との包括連携事業

もりた夢駅～冬物語

生活科学学科 生活デザイン専攻 教授 内山 秀樹

歩いて暮らせるまちづくり実現のために、住民の方に電車や駅を身近に感じ、利用していただくための取り組みの一環として2008より始め、今年で10年目を迎えた「もりた夢駅」。昨年より福井大学学生サークル「遊房」と連携して2年目。環境デザインゼミの学生7名が「遊房」のメンバーや森田地区文化委員会と企画段階から打ち合わせを重ね、12月3日に開催しました。

昨年からの企画で、子供達に人気のGOGOトレイン。電車に乗る機会の少ない子どもたちに電車の乗り方の理解と電車への関心を高めるために、保護者同伴なしに引率大学生と電車で福井駅に行き、駅周辺でクイズラリーなどを楽しみ森田に戻ってくる企画です。

生活デザイン1回生は、5グループに分かれ、「みんなでつくる夢駅ギャラリー」、「クリスマスリースを作ろう!」森田夢駅イルミネーション、「あったかスープのラテアート」、「プラバンdeもりたん」のデザイン遊びコーナーの運営を中心に、GOGOトレインの引率にも参加しました。

子どもたちとのコミュニケーションについては楽しんでる学生が多かった反面、難しさを実感



「GOGOトレイン」出発だー!：引率チーム



こう祈るのよ：クリスマスリースづくりチーム

した者もいたようです。また、生き生きした表情で地元の方々とコミュニケーションするなど、日頃講義室ではあまり見せない一面もみられた一日でした。

